

# 学校長通信 No.25

## 平成 27 年度 府立学校経営研究発表大会にて

---

平成 28 年 1 月 15 日、大阪府教育センター（大阪市住吉区）で開催されました府立学校経営研究発表大会におきまして、日根野高等学校の取組みについて発表させていただきました。以下のものは、その時に使用いたしましたレジュメ資料となります。

### B 会場（テーマ：「学校経営改善」）

地方都市小規模中堅校の生き残り戦略 ～地元を支えられ評価される学校づくり～

府立日根野高等学校 校長 岸野 圭吾

#### 1 発表の趣旨

時代が大きくパラダイムシフトする中、セーフティネットとしての機能を持つ公立学校にも民間企業に比肩するような事業効率が要求されるようになりました。厳しい環境の下、それぞれの学校がセーフティネットであり続けることを求められながら、同時に費用対効果の価値基準で、生き(残)る力を試され始めています。公立学校は複雑なシステム課題の先端部に置かれているように感じます。

本日は、そのような複雑系新時代を、いわゆるボリュームゾーンと呼ばれる普通の中堅校がどのような姿を思い描きながら生き抜いていこうとしているのか、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成をめざす一方で、そうではない多くの普通の子供達が世界を相手に普通に生きていく為に、どのようなキャリアプランを用意しようとしているのか、その辺りの取組みについて共に考えてまいりたいと思います。

#### 2 発表の概要

- (1) 本校の概要紹介
- (2) 本校の課題発見 ～地元インタビューから～
- (3) 本校のミッション「地元で高く評価される学校づくり」
  - ・サブミッション 1「何をしたいか分かりやすく」

・サブミッション 2「地元へ貢献し地元へ愛される」

・サブミッション 3「立ち居振る舞いのきちんとした生徒」

(4) ミッション遂行のために「とにかく明るい日根野高校」

(5) 現時点でのアウトカム

### 3 まとめ

最も新しく作られた府立高校である日根野高校も、今年で 30 周年を迎えます。創立以来、他に先んじて外国語専門コースの設置、2 学期制の導入、普通科総合選択制への移行、普通科専門コース設置校への移行と、やや短いタームでの制度変更を繰り返してまいりましたが、それもこれも現在の日根野高校の戦略的な立ち位置を定める為に必要不可欠なことであったと考えております。

そして本校の究極のアウトカムは「地元と共に育てたグローバル人材がちゃんと定住する街づくりに資すること」、「優秀で愛すべき人材が地元で活躍し、きちんと貢献する職住環境の整備に資すること」。そのように考えております。

以上

Hineno Style 03

## 地方都市小規模中堅校の 生き残り戦略

地元へ支えられ評価される学校づくり

大阪府立日根野高等学校  
岸野圭吾